

令和7年度全国学力・学習状況調査 羅臼町内の状況及び今後の改善方策

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

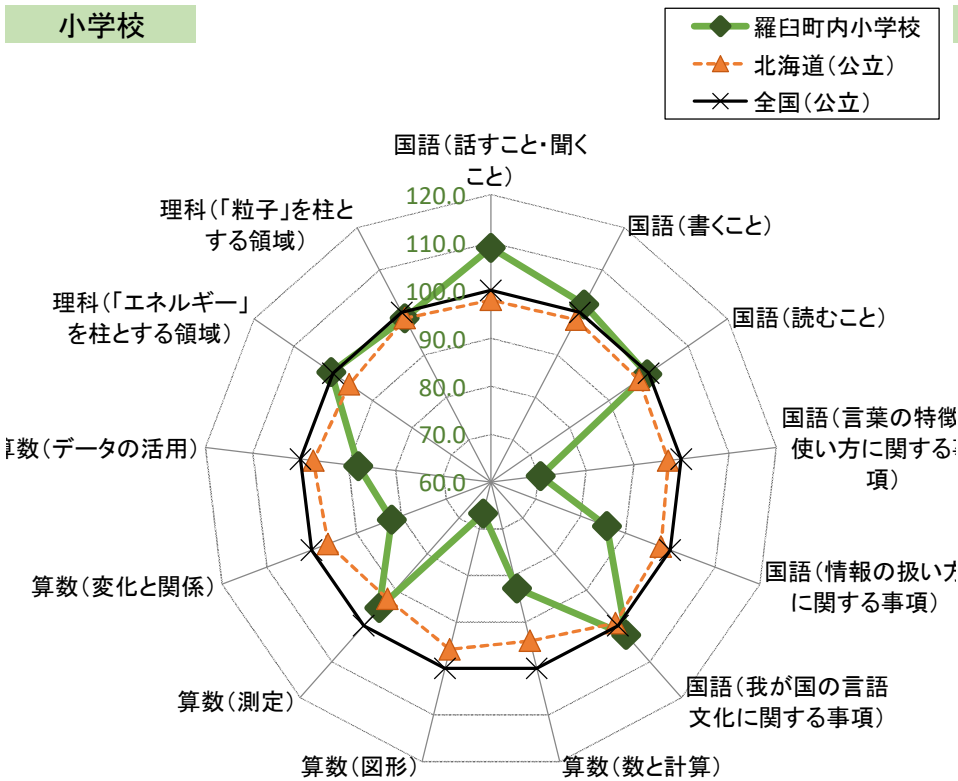
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校数:2校、児童数:24人 中学校数:1校、生徒数:31人

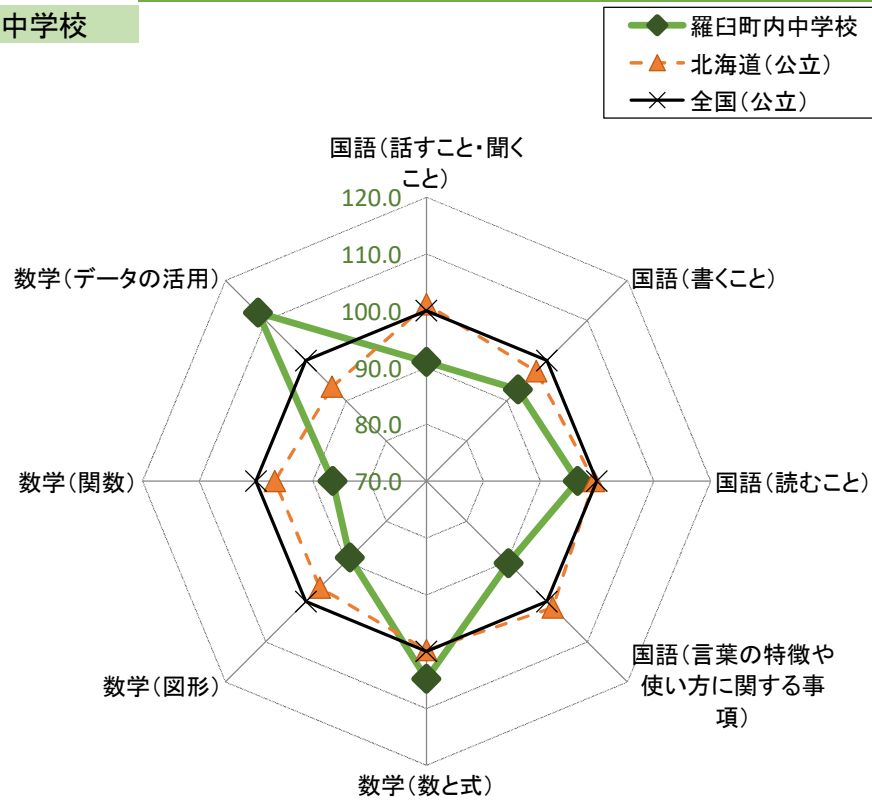
【平均正答率・平均IRTスコア】 ※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
羅臼町	65	46	55	50	48	455
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503

小学校



中学校

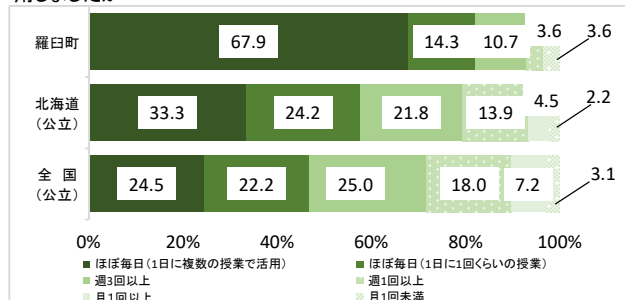


○ 質問調査の状況

小学校

<児童質問>

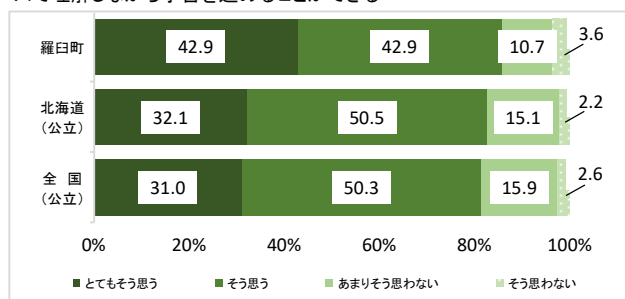
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか



小学校

<児童質問>

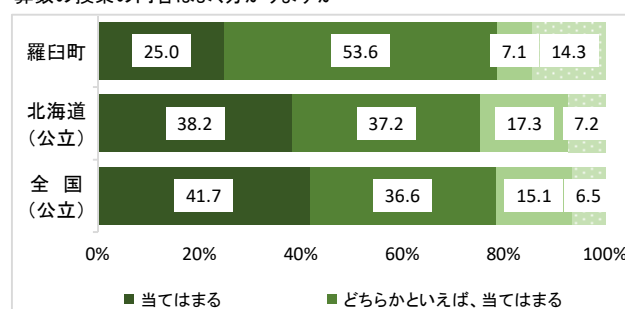
5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



小学校

<児童質問>

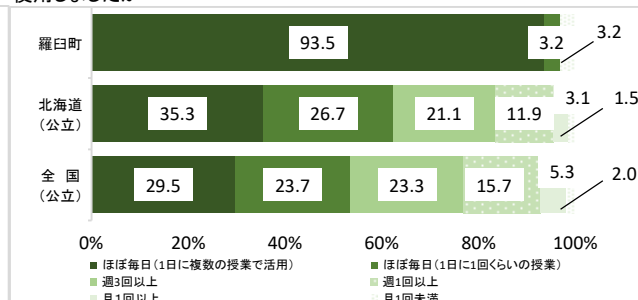
算数の授業の内容はよく分かりますか



中学校

<生徒質問>

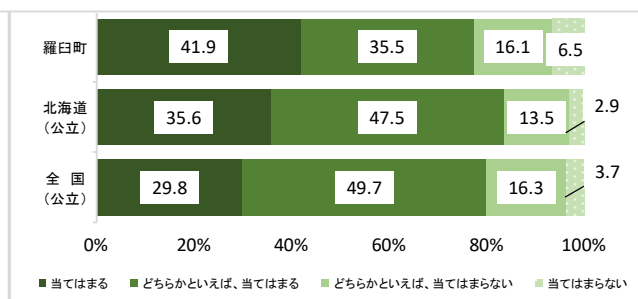
2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか



中学校

<生徒質問>

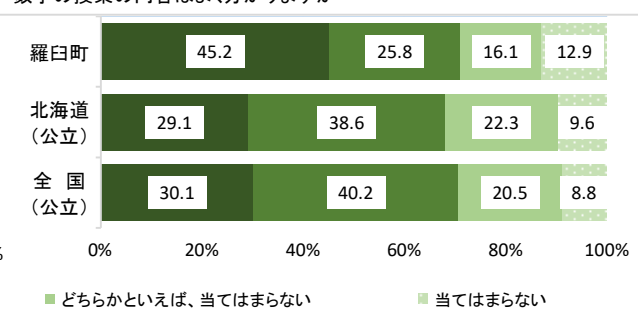
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



中学校

<生徒質問>

数学の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、自分のペースで理解しながら学習することができると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
- 中学校において、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
- 小学校算数の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数の授業の内容はよく分かったと回答した児童の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。一方で、中学校数学の平均正答率が全道平均を上回っている状況は、授業改革が進んだことにより、数学の授業の内容はよく分かると回答した児童の割合が全国及び全道を上回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 「羅臼町学力向上プラン」に基づき、児童生徒の学びの習熟度に合わせたICTの更なる活用を推進し、児童生徒が自分のペースで理解しながら学習を進めたり、探究的に学習したりする学習活動の充実を図ることで、確かな学力の向上に取り組む。
- 自分の考え方を整理したり、メタ認知を高めたりできるよう、振り返りの時間の充実を図る。